

精神障害者職場再適応支援プログラム
ジョブデザイン・サポートプログラムの
カリキュラムの再構成
～ プログラムの具体的内容と支援の実際 ～

はじめに

障害者職業総合センター職業センターでは、気分障害等の精神疾患により休職中の方々の職場への再適応を支援し、離職の防止と雇用の安定を図るため「精神障害者職場再適応支援プログラム（Job Design Support Program、以下、「J D S P」という。）」を実施し、模擬的な職場環境の中で習得した知識やスキルを総合的に実践活用し実用度を高めるための支援技法（ジョブリハーサル）や、職場復帰後の安定出勤を支える健康的で安定した生活習慣の継続を図るための支援技法（日常生活基礎力形成支援）など多くの技法の開発に取り組んできました。その開発成果については、実践報告書や支援マニュアルに取りまとめ、職業リハビリテーション研究・実践発表会をはじめとしたさまざまな機会を通じて発信しています。

J D S P は、在職精神障害者の職場復帰支援プログラム（リワークプログラム）をさらに発展させることを目的に、平成 16(2004)年から開始されました。このたび、J D S P のカリキュラムの再構成をテーマに、開始から 15 年以上の経過の中でさまざまな支援技法を開発・追加しながら変遷してきた J D S P のカリキュラムの全体像や構成要素をわかりやすく整理するとともに、各プログラムの具体的な内容や支援の実際、実施上の工夫や留意事項を取りまとめ、職業リハビリテーション機関における職場復帰支援の現状と今後の課題、方向性をあらためて提示することとしました。

本実践報告書が、気分障害等の精神疾患による休職者の方々の職場復帰支援において活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

令和 3 年 3 月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター
職業センター長 望月 春樹

